

## 2012年欧州人口会議

2年に一度欧州地域で開催される欧州人口会議（European Population Conference 2012）が2012年6月13日～16日の日程で、スウェーデン、ストックホルム大学を会場とし開催された。今回の会議の特別テーマは、長年、社会民主主義的な家族政策やジェンダー対称的な社会システムの構築を進めてきたスウェーデンという開催地にちなみ「ジェンダー、政策、人口」であった。開会式では、Gøsta Esping-Andersen, Frances Goldscheider, Peter McDonald, Lena Sommestad の各氏が、歴史、ジェンダー、経済と政策、欧州の人口状況をテーマに基調講演を行った。本会議では111の口頭セッションと3つのポスターセッションが設置され、欧州を中心に人口研究の専門家が多数参加した。欧州に共通する問題関心に基づく報告が多く、子育て支援策の効果を大規模長期のパネルデータで測定したものや、データが不完全である移民の人口動態の推定、リーマンショックの再生産行動への影響といったテーマについて活発な意見交換がなされた。

当研究所からは、金子隆一副所長および筆者が参加し、Various fertility measures in the recovery phase of total fertility rates in Japan と題し、出産未経験者の構造を統制した合計特殊出生率の上昇幅の推定結果をポスターセッションで紹介した。（岩澤美帆記）